

大野城市 議会だより



2023 令和5年
No.161
発行 大野城市議会
編集 広報委員会
令和5年6月1日

3
3月定例会



令和5年 6月定例会 (予定)

6月1日(木)10:00～本会議 提案理由説明
9日(金)10:00～本会議 質疑・付託
13:30～各常任委員会 13日迄

19日(月) 9:30～本会議 一般質問
20日(火) 9:30～本会議 一般質問
22日(木)10:00～本会議 報告・討論・採決

令和5年第2回5月臨時会において

議長に関井利夫議員
副議長に河村康之議員選出

議長



関井 利夫

副議長



河村 康之

総務政策委員会



委員長
井福 大昌



副委員長
岡部 かおり



井上 正則



関井 利夫



大塚 みどり



福澤 信光



永利 恭子



中村 慎一郎

都市経済委員会



委員長
中村 真一



副委員長
原田 真光



松崎 正和



山上 高昭



河村 康之



松崎 百合子

※議員名簿 (2ページ)

福祉教育委員会



委員長
森 和也



副委員長
神田 徳良



松田 美由紀



平井 信太郎



平田 不二香



河野 敏生

主な記事

- 議員名簿 P2
- 委員会レポート P8～9
- 議会報告会 P3
- 代表質問 P10～11
- 令和5年度一般会計予算 P4～5
- 一般質問 P11～16
- 3月定例会 P6～7

市民とともに歩む議会だより

次号162号
令和5年
8月15日発行

あなたの写真で
議会だよりの紙面を
飾ってみませんか?
(縮切り 6月30日)

大野城市議会議員名簿

[任期：令和5年5月1日～令和9年4月30日]

令和5年5月10日現在

	氏名	住所	電話 (市外局番 092)	F A X (市外局番 092)	予算	議運	会派	広報	所属会派
議長	せきい としお 関井 利夫	大城3-9-17	090-1365-2123	503-2123					自民大野城
副議長	かわむら やすゆき 河村 康之	筒井3-9-41	080-9804-9910	—			◎		公明党
総務政策委員会	委員長	いふく だいすけ 井福 大昌	白木原1-2-15-102	515-6678	515-6678	☆			自民大野城
	副委員長	おかべ 岡部 かおり	錦町1-2-23(事務所)	080-5200-9863	591-6018			☆	自民桔梗の会
	委員	いのうえ まさのり 井上 正則	南ヶ丘7-4-13	596-7084	596-7084	☆	☆		公明党
	委員	せきい としお 関井 利夫	大城3-9-17	090-1365-2123	503-2123				自民大野城
	委員	おおつか 大塚 みどり	月の浦4-19-7	595-2470	595-2470	☆			公明党
	委員	ふくざわ のぶみつ 福澤 信光	上大利2-17-5	—	—	☆	☆		市民クラブ
	委員	ながとし きょうこ 永利 恭子	東大利	574-4026	574-4026	☆			未来フォーラム
委員	なかむらしんいちろう 中村 慎一郎	宮野台12-12(事務所)	—	595-0935			○		
福祉教育委員会	委員長	もり かずや 森 和也	月の浦2-3-9	596-8508	984-1384	☆	☆		自民大野城
	副委員長	かんだ のりよし 神田 徳良	下大利4丁目	090-3738-3091	595-2953			★ ☆	公明党
	委員	まつだ みゆき 松田 美由紀	月の浦	577-0884	577-0884	◎	○		
	委員	ひらい しんたろう 平井 信太郎	南大利1-13-5	595-4516	595-4516			◎ ★	自民まどか
	委員	ひらた ふじか 平田 不二香	白木原1-9-37	404-8870	558-5278	○		★	自民桔梗の会
	委員	かわの としお 河野 敏生	東大利1-8-6(事務所)	915-4790	915-4791		☆		☆ 未来フォーラム
都市経済委員会	委員長	なかむら しんいち 中村 真一	山田1-6-12	090-3076-0790	501-5317	☆	☆		自民大野城
	副委員長	はらだ まさみつ 原田 真光	南ヶ丘7丁目	080-1537-6069	—	☆			自民まどか
	委員	まつざき まさかず 松崎 正和	南ヶ丘1-14-27	596-0900	596-0900			★	市民クラブ
	委員	やまかみ たかあき 山上 高昭	大字牛頸270	595-8154	596-5515			★ ☆	自民大野城
	委員	かわむら やすゆき 河村 康之	筒井3-9-41	080-9804-9910	—				公明党
	委員	まつざき ゆりこ 松崎 百合子	紫台13-17	080-5283-7037	595-7037	☆		★	未来フォーラム

※議長

※副議長

※ ◎委員長 ○副委員長 ☆委員 ★代表

議員名簿

議会報告会

一般会計予算

3月定例会

委員会レポート

代表質問

一般質問

議会報告会 ご意見と回答

令和4年11月9日(水)に大野城市シニアクラブ連合会、翌10日(木)に大野城市食生活改善推進会の皆様と議会報告会(意見交換会)を実施しました。その際に出ましたご意見とそれに対する回答を掲載します。



ご意見

- ・防犯カメラを増やしてほしい
- ・公園などに防犯カメラをさらに設置してほしい

地元の意見や、犯罪発生状況、交通量などをもとに、新たな設置計画が策定される予定です。今後も必要な箇所への設置に向けて、働きかけを行っていきます。



回答



ご意見

- ・ひとり暮らしの高齢者が安心できる見守りを

「緊急まどかコール事業」に加え、令和5年度からは、人感センサーと緊急通報機器を用いた見守りである「あんしんまどか事業」が実施されます。市議会としても、ICTの活用など、議論を行っていきます。



回答



ご意見

- ・コミュニティバスを南地区へも走らせてほしい
- ・オンデマンドバスを導入できないか
- ・コミュニティバスのルート変更、見直しをしてほしい
- ・JR大野城駅・西鉄下大利駅にも乗り入れできないか
- ・坂の上の方にもバス停を設定してほしい(高齢者向けに)

コミュニティバスのネットワーク再編やオンデマンドバス導入など、地域公共交通のあり方について、議論を行っています。



回答



ご意見

- ・子どもの居場所がない
- ・17時以降に市主導で公民館の利用ができないか

大野城市には、中学生以上から29歳までを対象とした青少年の居場所「ユープレ」(筒井2-2-2)があります。市全体において子どもの居場所づくりが拡充されるよう、今後、市議会でも議論を行っていきます。

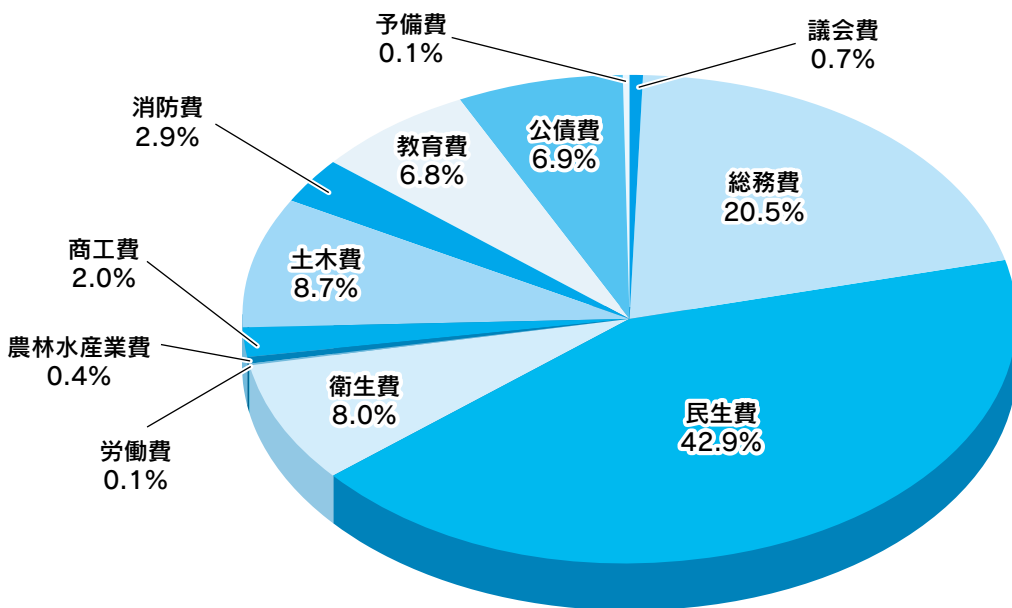


回答

上記以外にも様々な意見のテーマが出ました

- ・道路の車線
- ・空き家の保全
- ・小中学校の安全対策
- ・老人憩の家と公民館
- ・西鉄高架下などのにぎわいづくり
- ・牛頸ごみ最終処分場跡地利用
- ・議会報告会
- ・歩道
- ・災害時の放送
- ・防犯灯
- ・ひとり親へのケア
- ・免許返納後の支援

令和5年度一般会計当初予算



歳出総額 **412億2400万円**

前年度比 29億8800万円の増

気になるポイントをピックアップ！

◎ことばの教室運営事業

2121万円

大野北小学校、月の浦小学校及びユープレに加え、令和5年度から下大利小学校にことばの教室（通級指導教室）が新設されます。

◎子ども医療費助成事業

4億1453万円

中学3年生までの子どもの入院・通院に係る医療費のうち、自己負担限度額を超える金額を助成します。

◎プレミアム付商品券発行支援事業

3612万円

令和4年度に続いて、プレミアム率20%の商品券が発行されます。令和5年度からキャッシュレス商品券が一部導入されます。

◎交通安全施設整備事業

5999万円

従来の交通安全対策事業に加えて、ふるさと納税による寄付金を活用し、路側帯のカラー舗装、カーブミラーの整備、横断歩道のある交差点に防護柵等を設置します。



新規事業

あんしんまどか事業・みつけてまどか事業・ここだよまどか事業 高齢者・認知症見守り事業

室内人感センサーやオペレーターに緊急通報ができる携帯電話、二次元コードが付いたシール、GPS機器などICTを利用し、高齢者や認知症の家族の安全安心をサポート。

子どもの見守りシステム整備事業

小中学校に通学する子どもたちにセンサー端末を配布し、市内に設置した基地局やスマホアプリを利用し位置情報を記録することで、登下校時の事故や犯罪を未然に防止。

電子図書館サービス事業

粕屋町、志免町及び新宮町と連携し、令和5年4月から電子図書館サービスを開始。電子書籍の導入で、読書環境の更なる充実を図る。

3月定例会 委員会レポート

園児の送迎バスの安全装置義務化 予算委員会(補正予算)

第20号議案
令和4年度大野城市一般会計補正予算(第13号)について
歳入歳出それぞれ3億5,799万6,000円を増額し、補正後の歳入歳出予算総額を430億2,082万4,000円とするもの

- 問** 認定こども園等の送迎バス等の安全装置設置の対象となる施設、対象車両、補助額は
- 答** 認定こども園等における送迎バス等の安全装置設置が、令和5年4月1日付で義務化される。対象施設は、安全装置の設置が義務づけられる送迎バスを保有する市内の認定こども園3園のほか、設置義務はないが、分園と本園との間で園児を移送する車両を保有する認可保育所1園、対象車両は計9台で補助額の1台当たりの上限は17万5,000円である。

問 送迎バス安全装置はどのようなものがあるか

答 園児を降ろし忘れて車両を離れてしまった場合、一定時間を置くと大音量のサイレンが鳴るなど、センサー等で園児を自動的に検知するタイプや、車両の最後部にボタンを設置して、下車する際にボタンを押さないとメロディーやブザーが鳴りやまないという構造で、職員が最後部まで行くことによって園児を目視するタイプ、その二つを併用した三つのタイプがある。

問 設置時期は

答 安全装置は令和5年4月1日までに設置する義務があるが、安全装置設置以外の方法で園児の所在を確認する対策をとることで、1年間猶予される経過措置が設けられている。

過去最大の当初予算額(令和5年度当初予算)

予算委員会

第26号議案

令和5年度大野城市一般会計予算について

問 今年度当初予算のポイントは

答 1点目は、新たな行政課題への対応として、ウィズコロナ、アフターコロナに向けた新たな取組、またDX(デジタルトランスフォーメーション)やGX(グリーントランスフォーメーション)を進める施策などにも取り組んでいくこと。2点目は、誰一人取り残さない包摂社会の実現に向けた取組として、子育てに関する切れ目のない支援の充実、子どもたちの学びの確保と自立に向けた支援などに取り組んでいくこと。3点目は、これからの50年に向かうまちづくりとして、西鉄高架完了後の未来をデザインをするまちづくり、市民の命と暮らしを守る施策に取り組んでいくことである。

問 社会情勢の変化による市債への影響は

答 近年は金利が低い状況が続いていたが、昨年日銀が長期金利の上限を見直し、0.5%まで許容するという一方で、金利が上昇傾向になっている。交付税措置のあるものをしっかり選定して借入れを行ったり、常日頃から市債残高に注視し、適時適切に繰上償還を行ったりするなど、市債残高を管理していく。

問 自治体デジタル化推進体制強化事業の趣旨、内容、体制及び次年度以降の計画は

答 本市のデジタル化を強力に推進することを趣旨として、外部のデジタル専門人材を活用し体制強化を図る。次年度以降については、今後提案もしながら対応していきたいと考えている。

問 クラウド型被災者支援システム導入によるメリットと、導入から運用までの見通しは

答 市では大規模災害発生時に被災者台帳を作成し様々な支援策を行っているが、クラウド型被災者支援システムの導入により複数のパソコンで同時に事務ができ情報共有ができるようになる。また、付加機能として、避難所の運営管理、例えばマイナンバーカードを利用した避難所の入退所管理や、避難行動

要支援者に関する名簿の作成・更新もでき、一括して管理ができるようになる。令和5年度に導入し試験運用等を行い、令和6年度から本格的に活用していきたい。

問 あんしんまどか事業とは

答 あんしんまどか(高齢者ICT見守り)事業の目的は、独居高齢者等の孤独死防止と不安感の解消である。人感センサーと緊急通報機器の二つの機器を用い、人感センサーは24時間人の動きを感知しなかった場合にオペレーターに通知、緊急通報機器はワンタッチ操作でオペレーターに通報される仕組みとなっている。どちらの機器の場合も、必要に応じて警備会社が駆けつける体制を取る。

問 子どもの見守り整備事業とは

答 子どもの見守りシステムは、電波を発信する小型の見守り端末と、その電波を受信し位置を記録する見守りポイントを利用して行う。子どもたちが見守り端末を持って登下校を行い、通学路上の電柱や店舗などに設置した見守りポイントを通過すると、そのときの子どもの位置や時刻が記録され、保護者や市、警察が必要なときに専用のアプリやインターネットを通じて子どもの位置情報を確認でき、地域での見守りを補完するものとして考えている。

問 不登校児童生徒のオンライン学習支援事業の対象者は

答 登校ができない、校内適応指導教室や市の適応指導教室にも足を運ばない、家から外に出られない子を対象とした事業である。

問 一部キャッシュレス化となるプレミアム付商品券の運用は

答 新たな試みとして販売額3億円のうち、2億円分のキャッシュレス商品券を導入する。大野城市専用のアプリを使って、専用の2次元バーコードを各商店に置いていただき、それを購入の方が読み込んで支払うというようなシステムを予定している。

3月定例会

令和5年3月定例会を2月22日(水)から3月20日(月)まで開催

37の案件を審議し、全て可決、同意。報告が1件。2会派が代表質問、10名の議員が一般質問。

審議結果一覧

令和5年3月定例会

議案番号	件名	議決結果	付託委員会
第1号議案	大野城市個人情報保護に関する法律施行条例の制定について	賛成多数 可決 (賛成17・反対1)	総務政策委員会
第2号議案	大野城市情報公開条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数 可決 (賛成17・反対1)	//
第3号議案	大野城市消防団員の定員、任用、給与、分限、懲戒及び服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致可決	//
第4号議案	大野城市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
第5号議案	大野城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数 可決 (賛成17・反対1)	//
第6号議案	大野城市重度障がい者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致可決	//
第7号議案	大野城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する認可基準を定める条例及び大野城市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	//	福祉教育委員会
第8号議案	大野城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する認可基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
第9号議案	大野城市子ども・若者育成会議設置条例及び大野城市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
第10号議案	筑紫地区介護認定審査会事業特別会計条例の制定について	//	//
第11号議案	大野城市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
第12号議案	大野城市成年後見運営協議会設置条例の制定について	//	//
第13号議案	大野城市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
第14号議案	大野城市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
第15号議案	大野城市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	//	都市経済委員会
第16号議案	市道路線の廃止について	//	//
第17号議案	市道路線の認定について	//	//
第18号議案	大野城市固定資産評価審査委員会委員の選任について	全会一致同意	-
第19号議案	令和4年度大野城市一般会計補正予算(第12号)について	全会一致可決	予算委員会
第20号議案	令和4年度大野城市一般会計補正予算(第13号)について	//	//
第21号議案	令和4年度大野城市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)について	//	//
第22号議案	令和4年度大野城市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	//	//
第23号議案	令和4年度大野城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について	//	//
第24号議案	令和4年度大野城市水道事業会計補正予算(第3号)について	//	//
第25号議案	令和4年度大野城市下水道事業会計補正予算(第4号)について	//	//
第26号議案	令和5年度大野城市一般会計予算について	//	//
第27号議案	令和5年度大野城市国民健康保険特別会計予算について	//	//
第28号議案	令和5年度大野城市介護保険特別会計予算について	//	//
第29号議案	令和5年度大野城市後期高齢者医療特別会計予算について	//	//
第30号議案	令和5年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計予算について	//	//
第31号議案	令和5年度大野城市公共用地先行取得事業特別会計予算について	//	//
第32号議案	令和5年度大野城市土地区画整理清算金特別会計予算について	//	//
第33号議案	令和5年度大野城市水道事業会計予算について	//	//
第34号議案	令和5年度大野城市下水道事業会計予算について	//	//
第35号議案	令和4年度大野城市一般会計補正予算(第14号)について	//	//
第36号議案	令和5年度大野城市一般会計補正予算(第1号)について	//	//
第37号議案	大野城市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	//	-
報告第1号	専決処分の報告について(公用車の交通事故による損害賠償の額の決定及び和解について)	報告	-

賛否の分かれた議案

(○：賛成、●：反対、欠：欠席、－：議長は表決に加わらないため)

議員氏名	自民令和				自民まどか			自民大野城				公明党			改革フォーラム		市民クラブ			
	森和也	井福大昌	中村真一	平田不二香	関井利夫	山上高昭	渡邊知之	田中健一	平井信太郎	原田真光	岡部かおり	河村康之	井上正則	大塚みどり	神田徳良	関岡俊美	松田美由紀	松崎百合子	福澤信光	松崎正和
第1号議案	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	●	○	○
第2号議案	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	●	○	○
第5号議案	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	●	○	○

－ 陳情関係 － (全議員に写しを配布)

陳情第1号	民主主義・立憲主義の基盤である思想・良心の自由、請願権等を守る為の陳情
陳情第2号	日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める陳情
陳情第3号	庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情

議会の動き

2月8日 会派代表者会議
15日 議会運営委員会
22日 本会議(初日)
予算委員会
全員協議会
会派代表者会議
広報委員会

3月3日 本会議(2日目、代表質問)
総務政策委員会
6日 福祉教育委員会、都市経済委員会
7日～9日 予算委員会
13日 予算委員会
14日 議会運営委員会
本会議(3日目、一般質問)
予算委員会

15日 本会議(4日目、一般質問)
会派代表者会議
20日 議会運営委員会
本会議(最終日)
全員協議会

4月12日 広報委員会



3月定例会 委員会レポート

国民健康保険税率が改定されます

総務政策委員会

第5号議案

大野城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

問 国民健康保険税率の県内統一化の時期等の見込みは

答 令和6年度に福岡県国保運営方針が改定されると聞いており、その中で今後の方針が示される見込みである。

問 県内各自治体の負担が統一化されるのか

答 決定ではないが、県からは、全自治体が同じ税率ということではなく、各自治体の所得の水準等に見合ったところで統一していくと聞いている。

問 国保財政の赤字補填をゼロにするために

は、来年度も応能割(所得割)、応益割のいずれも引き上げなければならないと思うがその試算はされているか

答 今回の引き上げの一方で、収納率の向上や医療費の抑制等にも取り組み、来年度の状況を見て、不足分の引き上げをお願いすることで想定している。

問 低所得者の負担軽減の意味で、所得に応じて増額となる所得割を、応益割に比べて少し多めにするという考え方もあると思うが、他市等の状況も踏まえた改正案になっているのか

答 毎年県から標準保険料率が示されるが、段階的に改定するという事で、標準料率との差が概ね2分の1となるよう、また応能割と応益割の割合も2分の1に近づくよう算定している。

犬の登録に特例制度ができます

都市経済委員会

第15号議案

大野城市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

問 動物の愛護及び管理に関する法律の一部改正の概要は

答 犬猫等の販売業者に対して、犬や猫へのマイクロチップ装着の義務化、及び、犬の登録申請に関する特例制度の創設が主な改正点となる。

問 手数料条例の一部改正の概要は

答 犬の登録申請に関する特例制度を令和5年4月1日から適用することに伴い、手数料条例の一部改正を行う。犬の登録申請は、現在、

市の窓口において登録手数料を支払っていただき、鑑札を交付しているが、今回の特例制度を適用することにより、マイクロチップを装着し、環境省へ登録された犬については、マイクロチップを鑑札とみなすことができるようになった。これにより、市の窓口での犬の登録手続きが不要となり、鑑札を交付する必要がなくなることから、登録手数料を不要とするもの。

送迎用バス等に、安全装置設置の義務化！ 福祉教育委員会

第8号議案

大野城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する認可基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

問 安全装置設置の義務化の概要は

答 置き去りを防止するブザー等の送迎用車両への設置を義務化し、園児の安全確保を図るもの。

問 家庭的保育事業所等の対象施設数は

答 本市は小規模保育事業所の2園である。

問 送迎用車両への安全装置設置の義務化の経過措置に記載の設置が困難な場合の事情は誰が確認するのか。また、不具合が起きた場合の対応は

答 設置困難な事情を確認するのは、各施設管理者である。仮に不具合が起きた場合は、メーカー等により対応を行っていくものと考え

問 「安全計画」の策定期限、内容及び保護者への公開は

答 国の内容に準じ施行日の令和5年4月1日までに策定する。また、保護者への周知も行う。

問 感染症や食中毒発生防止のため、定期的研修の実施とあるが、報告の義務はあるのか

答 報告の義務はないが、監査等で立入検査等を行って確認する。

第12号議案

大野城市成年後見運営協議会設置条例の制定について

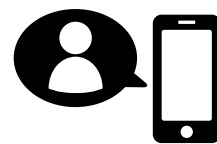
問 成年後見運営協議会の位置づけと権限は

答 成年後見運営協議会は、国の計画等に基づいて設置するもので、法律や権利擁護等の専門家の方が後見人や被後見人の個別の相談や困り事等について協議し、支援方針等を決定する。後見人等の選任は家庭裁判所が行う。

代表質問

～大野城市長の考えを問う～

各会派のタイトルにある
二次元コードから映像を
見ることができます。



代表質問とは・・・市長の施策方針及び所信表明等に関して、会派から代表者を立てて質問を行います。

会派名	所属議員	内容
自民大野城	④田中 健一 ・平井 信太郎 ・原田 真光 ・岡部 かおり	1. 令和5年度 施政方針について
自民令和	・森 和也 ・井福 大昌 ・中村 真一 ・平田 不二香	
自民まどか	・関井 利夫 ・山上 高昭 ・渡邊 知之	
公明党	・河村 康之 ・井上 正則 ④大塚 みどり ・神田 徳良	1. 施政方針について



映像はこちら

令和5年度施政方針について

自民大野城・自民令和・自民まどか

問 今後、市制施行100周年に向けての本市のまちづくりについて、どう取り組んでいくのか

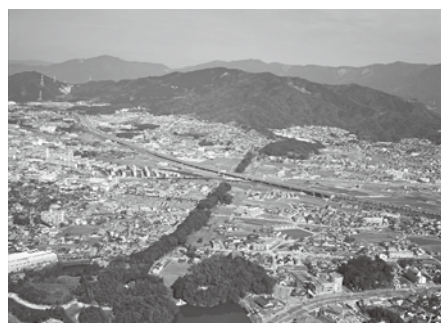
答 コミュニティのまちづくりで培われた自助・共助を支える多彩な市民力、市民から信頼され、シンクタンクとして政策立案能力と政策実行力を備えた多様な職員力、持続可能で将来に負担を先送りしない健全な行財政運営の確立を、これまで以上に連携させ、活かし、着実に形にすることで、未来につながるまちづくりを推進していく。

問 大規模災害時における避難所となる、各コミュニティセンターと小中学校屋内運動場への空調設備の整備着手計画は、どうなっているのか

答 令和5年度から工事の設計を順次行い、令和6年度にコミュニティセンターのふれあいホールと小学校屋内運動場、令和7年度に中学校屋内運動場を整備する。

問 四王寺山をワンヘルスの森として整備する際、文化遺産である大野城跡をどう活用していくのか

答 ワンヘルスの森の整備や福岡県自治研修センターの改修などを本市の新たな魅力の創出、活性化のチャンスと捉え、福岡県や関係自治体と連携し、大野城跡に上る登山道である「大野城歴史の散歩道」や、「大城自然の宝道」を活用して、四王寺山の貴重な文化遺産のPRを進めていく。





映像は「しずしず」

令和5年度施政方針について

公明党

問 ICTを活用した高齢者見守り支援の内容は

答 独居高齢者世帯等を対象に人感センサーと緊急通報機器を用いた見守りを行う。人感センサーについては、センサーを利用者宅の室内に設置し、24時間以上人の動きが感知されないときにオペレーターに通知され、本人や別居家族等に安否確認の連絡を行う。緊急通報機器については、ワンタッチ操作でオペレーターへの通報や会話ができ、救急要請の手配や別居家族等との連絡を行う仕組み。両機器とも必要に応じて、警備会社が駆けつける体制をとる。

問 窓口でのデジタル化推進は、いずれ「行かない窓口」も進める必要があると思うが、今後の計画は

答 令和5年1月末で各種証明書発行等の計45手続のオンライン申請ができ、マイナンバーカード所有者は転出手続も可能である。また、コンビニで各種証明書等を取得するコンビニ交付サービス

も、令和6年4月のサービス開始に向けて準備を進めている。今後も市役所まで出向くことなく行政手続が完結できる取組を拡充していく。

問 産後ケア事業に、サービスを多様に選択できるクーポン券発行を導入されては

答 本事業は妊娠期から出産、子育てまで様々なニーズに即した支援につなぐ、伴走型の相談支援と経済的支援を一体的に実施。現在、妊娠届出時の面談後に5万円、出産後の赤ちゃん訪問時の面談後に5万円給付している。クーポン券の利用を含めた手法については、国及び県の施策等を注視し、他自治体の状況等も調査しながら、継続して検討していく。



～ これからの大野城を問う ～

一般質問

各議員のタイトルにある二次元コードから映像を見ることができます。



注：★がついている内容を掲載しています。

氏名	件名
森 和也	★一般廃棄物の処理・ごみの減量化について
岡部 かおり	★市管轄の保育施設の労務管理について ・病児保育について
平田 不二香	★障がい児・者及び医療的ケア児・者への福祉サービスの充実のために
渡邊 知之	★利用され愛される公園づくりについて
河村 康之	★大野城市民総ぐるみ防災訓練の今後の計画と災害備蓄品の準備について
田中 健一	★「大野城の未来づくり」について
松崎 百合子	★保育士の応募が増えて、働き続けられる労働環境の整備について
松田 美由紀	★時代に合わない校則について ・保育料について ・待機児童について ・妊娠中の悩みや育児の相談について
大塚 みどり	★若者・女性活躍の支援について
平井 信太郎	★義務教育に於ける小中学校給食の無償化実現について



映像は「まちの」

粗大ごみのリユース・プラスチックの資源循環

森 和也

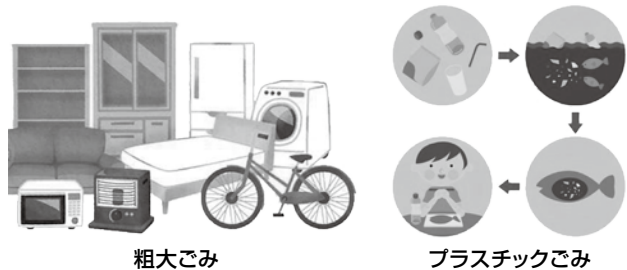


問 「自治体がフリーマーケットアプリのメルカリを使い、回収した粗大ごみからまだ使える家具やレジャー用品などを売っている。」という記事があった。自治体には粗大ごみの販売で処理費用を減らせるほか、市民の環境意識を啓発できる利点もある。大野城市において、このような施策は検討されているか

答 粗大ごみのリユースについては、現在、春日大野城リサイクルプラザへ持ち込まれた不燃の粗大ごみのうち、状態のよいものを再生し、譲渡、または販売するリサイクル展示会を4月を除く偶数月に開催している。今後、さらなるごみの減量化を推進するため、市民に対し、リユースショップやフリマアプリ等の活用に向けた情報発信と啓発を行っていく。また、市がリユースを支援する事業者と連携する取組については、先進地の取組状況を確認するなど、調査研究していく。

問 大野城市のプラスチックごみに対する取組をお聞かせいただきたい

答 プラスチックごみの対応については、循環型社会の形成に向けた重要な施策であると認識している。今後は、市民の皆様や事業者の皆様の協力を得ながら、リフューズ、リデュース、リサイクル、リユースの4Rに加えて、プラスチックに代わる素材の選択を行うリニューアブルの考え方を取り入れたプラスチックごみ削減の取組を進めていく。



映像は「まちの」

保育士の働きやすい環境づくりを！

岡部 かおり



問 公共交通機関が運休になった場合、出勤や退勤するときなどの保育士の安全確保について伺う

答 市内の認可保育所等の保育施設は、「災害時における大野城市内認可保育所等の臨時休園措置基準」において、鉄道等の計画運休が発表され、十分な保育体制が確保できない場合には、事前に市と対応を協議することと定めている。その結果、保育士の安全や、園児の安全な保育環境が確保できないと判断した場合には、臨時休園等の決定を行う。

問 保育士の働き方や、働く環境づくりについて市の見解を市長に伺う

答 未来を担う子どもたちが心豊かに育つまちづくりを進めていく上で、保育士は、子どもたちの健やかな成長を支える大きな役割を担っており、市としても働きやすい環境を整備していくこと

は、非常に重要であると認識している。その環境づくりの一環として、保育士に対する家賃助成事業や、待遇改善等を実施しており、保育環境の整備と併せて保育士が働きやすい環境の整備も進めてきた。令和4年度からは保育施設ICT化推進事業を実施し、保育事務のICT化による保育士の業務負担の軽減を図っている。今後も引き続き、子どもたちにより良い保育環境を提供できるよう保育士支援の一層の充実に向け、時代のニーズに合った取組を進めていく。





映像はこちら

障がい者就労施設からの 物品・役務の調達を！

平田 不二香



問 医療的ケア児・者在宅レスパイトケア支援事業の登録者が少ない理由は

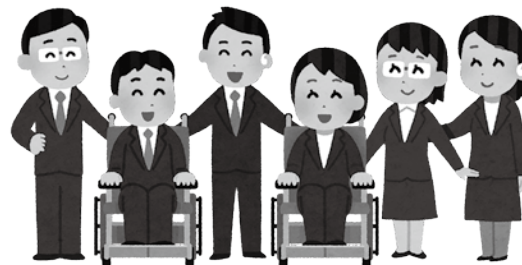
答 対象者や関係機関を取り巻く環境における様々な要因が考えられる。今後、本事業の対象者や訪問看護事業所、相談支援事業所等の関係機関に対して調査を行い、その要因を分析した上で、利用促進に向けた取組を進めていきたい。

問 今年度の障害者優先調達推進方針において設定している調達内容や、目標金額は

答 調達内容を印刷及び物品購入と定め、目標額は150万円と設定している。

問 市役所だけでなく、市の公共施設を管理している団体なども障がい者就労施設に物品や役務の発注を行っていただきたいが

答 市役所内の各課からの発注だけではなく、今後は、市の公共施設を管理している団体などに対しても、障がいのある方の就労機会の拡大や、工賃向上を図っていくことの重要性をご理解いただき、障がい者就労施設に対して、物品や役務の発注を行うことができないか、働きかけを行っていききたい。



映像はこちら

利用され愛される大野城総合公園へ

渡邊 知之



問 福岡自治研修センターの一般開放が令和5年7月から開始され、大野城総合公園とあわせて利用されることも考えられる。連絡通路の整備をする必要があると思うが

答 令和5年度に、福岡自治研修センターと総合公園キャンプ場の連絡通路の整備を行い、利用者を相互の施設に誘導するためのサインも整備することとしている。

問 大野城総合公園と福岡自治研修センターの連携により利用者が増加した場合、まどか号の増便が必要と思うが検討はされているか

答 まどか号の運行については、これまで大野城市バス交通協議会で検討していたが、令和4年度から、バス交通を含めた多様な交通手段について検討するため、大野城市交通活性化協議会を設置し、公共交通ネットワーク再編の検討を進めている。令和5年度は、まどか号の運行ルートや

便数など、抜本的に見直すために、市民アンケートやバス利用者の実態調査などを行い、大野城市交通活性化協議会で検討することとしている。このことから、まどか号の抜本的な見直しを行う中で、利用状況や周辺環境の変化なども踏まえて、大野城総合公園や福岡自治研修センターを経由するルートや便数についても検討していく。





映像は「しあさい」

災害時に学校で活用する 備蓄品の準備を！

河村 康之



問 学校にいる時に地震が発生した場合に備え、天井からの照明器具等の落下などから頭部を守る為に防災頭巾やヘルメットなどを準備している学校もあるが、本市は児童生徒を守る為にどのようなことを行っているか

答 児童生徒用の防災頭巾やヘルメットは準備していないが、児童生徒一人一人が、自分の身を守り、安全に避難するための行動を身につける訓練及び指導を各学校で行っている。具体的には小学校は年3回、中学校では年2回、地震や火災、不審者を想定した避難訓練を実施している。また地震を想定した避難訓練では「命を守る3行動」を基本に身を守るための指導を行っている。

問 災害発生後、児童を保護者に引き渡すまでに、どれくらい時間を要するか想定出来ないため、最低限の水や食べ物の備蓄が学校でも必要でないか

答 大地震の際には、保護者自身が帰宅困難者となり迎えに来られず、多くの児童等が学校にとどまることが想定されるため、児童等の一時保護用としての水や食料等、必要な備蓄品の検討を進めている。

問 災害時は晴天とは限らず、降雨や積雪時なども想定される。運動場に避難している児童生徒の健康面への配慮として、簡易的な合羽や防寒用アルミシートなど準備してはどうか

答 現在見直しを行っている本市の備蓄計画において、必要性などを考慮しながら、品目や数量等について検討していく。



映像は「しあさい」

九州大学との連携によるまちづくり

田中 健一



問 行政課題を解決するために、九州大学と連携協定を締結したが、その取り組み状況は、どうなっているのか

答 令和元年度から令和4年度において、九州大学筑紫キャンパスを含むJR大野城駅西口周辺のまちづくりの協議や東地区コミュニティ運営協議会が取り組む防災対策事業、また九州大学筑紫キャンパスオープンキャンパスへの出展や大利中学校での対話型サイエンスカフェ等を実施した。

問 次代を担う子どもたちが、九州大学筑紫キャンパスの留学生と交流することで、国際人として活躍できる人材の育成につながることに、どう考えているのか

答 国際感覚あふれる人材の育成には、子どもの頃から正しい理解を持ち、外国人と直に交流することが大変重要であると考えている。留学生の方には、自国の文化を紹介し、市民の皆様にも異国文化を体験してもらう事業に協力をいただいている。

問 大野城市と春日市は、それぞれ九州大学と包括的連携協定を締結しているが、今後、この文教地区としてのまちづくりについて、どう考えているのか

答 九州大学筑紫キャンパス周辺のまちづくりは、小学校から大学までの教育機関が集まる文教地区としての価値を高めるとともに、大野城駅前のにぎわいを創出するため、地区計画の策定を進めている。また九州大学や春日市と連携し、3者が持つ知的・人的資源等を活用した新たな連携事業について、協議を重ねていく。





映像はこちら

保育士の働く環境改善を！ 正規職員の増員を！

松崎 百合子



問 公立保育所の保育士の募集、応募と採用は

答 正規職員は、令和3年度の試験は2名募集、24名応募、2名採用。会計年度任用職員は、令和5年度採用分は55名募集、3月1日時点で51名の応募で50名採用予定、残りの枠5名は募集を継続する。

問 非正規職員の待遇改善が必要と考えるが

答 国の経済対策に基づき令和4年2月に給与の見直しを行った。待遇改善については国や近隣自治体の状況を踏まえ適切に判断したい。

問 正規職員の採用を増やすべきと考えるが

答 国の配置基準の見直しなどの動向を十分注視し、適正な職員配置に努める。

問 市として保育士配置基準を改善できないか

答 市立保育所では、国の基準を満たす正規職員の保育士を配置し、加えて、早朝や夕方以降の延長

保育等のため、会計年度任用職員の保育士も配置している。私立認可保育所でも、3歳児については、市内全ての園で園児15人に対して保育士1人を配置しており、国の配置基準以上の配置を行っている。

市内各保育施設では、適切な保育の提供ができていることから、市独自の保育士配置基準の見直しは、現在のところ考えていない。

問 配置基準について、国に改善要望は

答 福岡県市長会を通じて要望している。今後も、保育施設への支援等に努めるとともに、国に対しては、保育士の負担軽減に資する施策の要望を継続して行っていきたい。



映像はこちら

生徒が中心！時代に合わない 校則を見直そう

松田 美由紀



問 防寒対策として欠かせない上着の着用について

答 現状では各中学校の校則で、学校指定のものを着用することを基本とし、制服と同様、学校指定以外のものは、特段の理由がなければ認めていない。各中学校の制服は、令和6年度入学生から性別や気候変動等に柔軟に対応できるよう選択の幅を広げた、生徒が主体的に選ぶことができる新しい制服に変わるため、これを上着も含めた校則を見直す機会と捉え、各中学校に対応を検討するよう働きかけていく。

問 校則の見直し状況について

答 生徒自身が校則の意味を理解し、自ら主体性を持って率先して守ることができるよう取組が進められている。具体的には、生徒会を中心としたアンケートの実施や、生徒からの提案等を生徒総会に諮るなど、生徒の意見を反映した取組が行われている。

問 各中学校統一してブラック校則を撤廃できないか

答 学校に対して項目を指定した統一的な見直しの指示は行ってないが、制服・頭髪の男女別の記載、下着の色の指定、ツープロック・ポニーテールの禁止については、既に各中学校において検討され、見直しを進めている。

問 校則のホームページでの公開に対する市の考えについて

答 校則の内容などを各学校のホームページ等で公開することは望ましいと考えている。そのため、保護者や地域の方に伝えられる情報は積極的に公開するよう、本年2月の副校長・教頭研修会において、指示をしている。





映像は「まちのり」

女性視点の防災・減災 「女性防災士会の発足」へ

大塚 みどり



問 市は地域防災・減災を主体的に取り組む一環として、防災士取得者増を図り、大野城市防災士連絡協議会を設立した。防災士取得者の状況や今後の活動は

答 令和3年度までに防災士養成講座を3回実施し、188名が資格取得。令和4年5月に設立した大野城市防災士連絡協議会は、現在153名が登録しており、市内4地区の各連絡部会において、講演会や研修会、市民総ぐるみ防災訓練の参加などの活動を行っている。今後は、各地域での自主防災組織やコミュニティ運営協議会との連携について協議を進めていく予定である。

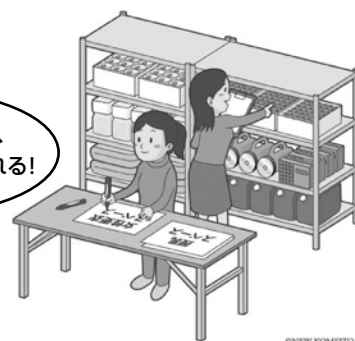
問 大野城市防災士連絡協議会と自主防災組織、市との連携・協働の考えや取り組みは

答 防災士連絡協議会の防災士が資格と知識を活かし、自主防災組織と連携しながら市民の防災意識や地域防災力の向上に寄与していただきたいと考えている。今後も連携が取れるよう、支援や調整を図っていく。

問 女性目線の防災に力を入れるために、「大野城市女性防災士会」(仮称)の発足を提案したい、市の見解は

答 防災士連絡協議会には、現在21名の女性防災士が登録されており、新たに15名の方が資格を取得され、合計で36名となる予定。女性防災士の組織化について、女性会員の方からも声が上がっている。避難所における女性の視点は必要不可欠であると考えており、女性防災士の組織化については早急に検討に入りたいと考えている。

避難所運営等には、
女性の視点を取り入れる!



映像は「まちのり」

小中学校の給食費の無償化を 実現しよう!

平井 信太郎



問 昨年末の時点で、全国では254の自治体が小中学校の給食の無償化及び補助を行っている。無償化した場合のメリット、デメリットは

答 メリットは、保護者の経済的な負担軽減が図れることや、保護者からの給食費の徴収事務が不要になること等である。また、子育て世代の移住や定住が期待できる。
デメリットは、継続的かつ安定的な財源の確保による行財政運営への影響が挙げられる。

問 給食無償化は少子化対策に寄与すると思うが本市の見解は

答 子育て世代の保護者の経済的負担を軽減する効果があり、少子化対策に寄与すると思う。

問 本市の中学校給食は、選択制を導入している。無償化を実施する場合でも選択制を生かした制度にすべきと考えるが、選択制に対する生徒等の評判は

答 中学生の食事に関するアンケートの「選択制は自分の希望に応じて選べるのでよい」という設

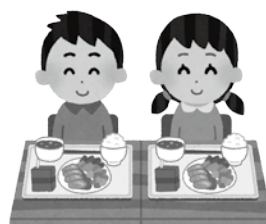
問に対し、生徒の87%、保護者66%、教職員93%が「そう思う」との回答で、多数から支持されている結果となっている。

問 本市の選択制給食のメリットは

答 ランチ給食か家庭弁当を1日単位で選択でき、生徒が食を自ら選択することで、自己管理能力の育成が図られる。また、食缶方式の給食と比較して、配膳時間を短縮できるメリットもある。

問 給食費無償化について教育長の見解は

答 国の異次元の少子化対策の内容を注視するとともに、無償化について一定の方向性を示すよう国に働きかけていきたい。



議会について知ろう

vol.7

予算・決算

議会では市の予算・決算の審査をし市民の声を行政に反映させるとともに執行機関の収支のチェックを行います。

予算

1年間の収入と支出等の見積りであり、毎年3月定例会に市長から翌年度の当初予算が提案されます。議会は限りある財源を最大限有効に活用できるよう、予算委員会での審査の後、議決し、予算が成立します。

決算

前年度予算執行の結果であり、毎年9月定例会に提案されます。議会在議決した予算が適正に執行されたか、また、翌年度の予算編成に活かすため、決算特別委員会での審査し、認定します。



もっと詳しく!

予算の編成権や提案権は首長(市長)にしかなく、議員には認められていませんが、議会には議決権や予算の修正権があります。

中学校ランチ給食サービスが 利用しやすくなりました!



ランチ給食サービスの
詳細はこちら

大野城市立中学校ではランチ給食サービスを実施しています
令和4年9月より電子注文(PECOFREE)サービスが始まりました



中学校
ランチ給食
サービス

×

PECO
FREE



ランチ給食のポイント

1食の料金 **250円**

※学校に月間券を申し込むことで
1カ月分まとめて注文もできます



電子注文(PECOFREE)のポイント

- ☑ 通知はLINEでシンプル
- ☑ 家でも注文できる
- ☑ 券売機に並ばなくてもOK

視察来庁

★危機管理について
1月23日 大阪府箕面市

★まち歩きアプリの
活用について
2月1日 福島県二本松市

★シニア大学について
2月9日 千葉県野田市

★大野城心の
ふるさと館について
3月28日 沖縄県うるま市

新しい広報委員決定

より多くの人に読んで、見てもらえるように、わかりやすい議会だより・議会ホームページを目指し、大野城市議会に関する情報をお届けします。

委員長 河村 康之
副委員長 中村 慎一郎
委員 山上 高昭、神田 徳良、岡部 かおり、河野 敏生

議会だよりは、2月、5月(6月)、8月、11月の年4回発行予定です。

短歌

- 街づくり一隅照らす人なのか いつもの出会いいつもの笑顔
- 朝の気が包んでくれる物干し場 奇しき光も身肌に浴びて
(乙金台 泉 満夫さん)
- 十一月十五日地球の人口八十億人突破 水 石油 酸素 ゆっくり進もう
- 歩く程昨日の灰汁が落ちるから 朝日にむかい一万歩行く
(若草 高名 稔さん)
- 粉雪が 優雅に舞いて 春染める 孫も新たに スタートライン
- たでの花 人目に触れず 道端に 和らぐ陽差し 政庁跡
(つつじヶ丘 松野直美さん)
- 春風に 梅桃桜 空へ舞い 若葉濃く浅く 移ろいながむ
- こもればは お日様葉蔭 キラキラと 心なごみて ひと休みする
(乙金台 小野敬子さん)
- 下校時の中学生の「今日は」 元気の挨拶嬉しくなりて
- 水面から突如飛び立つ白鷺を 追うて飛びゆく黒鷺も
(緑ヶ丘 平井静代さん)
- 青い空 元気におよぐ こいのぼり 子供の成長 幸せ願いて
- 五月晴れ 野良猫のこのこ 蝶は舞い 花はそよ風 鳥さえずりて
(白木原 ミドリさん)

イラスト



(白木原 ミドリさん)



(錦町 辻 大樹さん)

川柳

- 公園で幼児もカラスも楽しそう
- 上空を飛行機飛びて鳥のよう
(緑ヶ丘 平井静代さん)

俳句

- 落ちて直を その美を放つ 八重椿
- 友の娘の 健やか祈り 造る雛
(中央 田中千鶴さん)
- 風騒ぐ 心もさわぐ 入試前
- 包まれて 満ちる月日 木の芽雨
(つつじヶ丘 松野直美さん)
- わあ夕陽大池通り飛花落花
- 山城も耐えた千年春の夢
(乙金台 泉 満夫さん)
- 春風やあんよが上手女の子
- 国宝の撞かざるの鐘や響れる
(牛頭 西山光法さん)
- 春の歌あれもこれもとハミングし
- 春の花咲きて我れの目樂ませ
(緑ヶ丘 平井静代さん)

作品掲載希望者募集

議会だよりでは、みなさんからいただいた作品を紹介します。

●募集作品

・俳句 ・川柳 ・短歌 ・写真 ・イラスト など

●応募方法

住所、氏名、電話番号を記入して、
議会議務局「議会だより作品募集」係へ郵送または
直接窓口へ 〒816-8510 大野城市曙町二丁目2番1号
TEL. 580-1938

●注意事項

- ・未発表のものに限ります
- ・人物の写真については、掲載の了解を得てください。
- ・提出された作品は、返却しません。
- ・ペンネームでも可とします。
- ・応募多数の場合は広報委員会で厳選して決定します。
あらかじめご了承ください。

●応募締切

8月15日号掲載は6月30日まで



小・中学生からの応募もお待ちしております

広報委員会

委員長	河村 康之
副委員長	中村 慎一郎
委員	山上 高昭良
委員	神田 徳良
委員	岡部 かおり
委員	河野 敏生

あんてな

田舎道を歩くと、鍬を打ち込み田んぼの畦ぬりに、腰を伸ばしながら、土手のひび割れ修復に精を出す夫婦を見かけた。梅雨入り前、田植えの準備で忙しい。水が張られると、カエルたちの大合唱だ。迫る山々は、萌え出る青葉の匂い、もう夏は、そこまで来ている。議会も新人三人を含めた新体制を組んだ。より良き市民生活の向上を大前提として、一人一人が意見を出し合い、切磋琢磨していきたい。蟻の一穴・ミミズやもぐらの穴を塞ぐ畦ぬりのように、議会の土手もしっかりと固めて、今期の4年間で実り多きものに願いつつ。
(神田徳良)